



**Tackle Guide**  
2本バリと3本バリがあるが、私は手返しがよい2本バリを多用する。本ハリスは2号が標準だが、魚が大きいときは2.5号がおすすめだ。

**良型がヒットするもの**  
あまりの魅力的なサイズに僕も思わず竿を出す。ピシがひどく流されるので、着底したらすぐに5メートル程度巻き上げて少しの間を取り、再度着底させて底タチを

いあるため、巻き上げ途中や取り込みでの海面バラシも見られる。そのサイズとなるとただえさえ引きが強烈なのに、潮が超速いときでさらさら突っ走る。上アゴの硬い部分にハリ掛かりしないとヤリトリ途中でバレてしまうわけだ。

お昼ごろが潮止まりなので、その前後の潮が緩まったあたりが勝負のタイミングと期待

2度確認するようにして対処した。1メートル巻いてバツとコマセを振り、さらに1メートル巻いてアタリを待つ。しばらくして、ダダンと竿先が入った。ククツという中アジサイズのような感覚ではなく間違いない。強烈な突っ込みが続く、慎重にヤリトリを続けていたが途中でフワッと軽くなってしまった。続けてヒットしたがこちらは25センチ級。それでも非常にいいしそうなアジだ。28センチまでのサイズは数尾釣り上げたものの、やはり大アジのバラシは続く。一度はタモを入れようとした海面でさようなら……これは悲しい。

▼筆者も大アジをキャッチ



その読みどおり、12時ごろからバタバタと中アジのアタリが続いた。塩焼きサイズのおいしそうなアジだ。これでなんとかおかし分は釣れそうな勢いだったが、そんな中でダダンと激しいアタリ！「なんとか無事に上がってくれ！」と願いながら浮かせる。大アジと中アジの一荷。無事に37センチの大アジをゲットすることに成功した。そんな至福の時間も上げ潮が効き始めると終わってしま。午後1時過ぎからは再び潮が速くなりアタリも遠くなくなってしまった。船長も色いろとポイントを移動してくれるが、単発釣果

今日あたりの釣果が底なので、これからはよくなるでしょうとも話していた。ちなみに、翌日はやや持ち直して一人15〜33尾。そして18日には完全に持ち直して25〜108尾という大漁節。シケ後の荒食いを期待したのは大ハズレだったということだ。ピンポイントでドン底の日に取材してしまっ。アチャ……海の季節の移り変わりは陸よりも早い。本誌発売のころには秋の好シーズンに入り、

で後が続かず、何隻か見える僚船も移動を繰り返している。朝からそんな状態が続いているが、それはアジの食いがよくない日の典型的光景だ。結局、納竿までそんな感じが続き沖揚がりを迎えた。釣果は一人3〜22尾で平均10尾前後。僕は12尾でなんとかお土産にはなったが、期待した台風一過の荒食いはハズレという結果だった。船長の話では、本誌発売のころも釣り場は同じで、こまめにタナ取りをすることだけがコツですとのこと。

釣果もさらに安定すること間違い。透き通るような身のプリップリの刺身とアジフライ、塩焼きは絶品。クーラー満タン狙って再チャレンジしようと思う。



▲秋は干物作りもおすすめ

**船宿information**  
三浦半島浦賀港  
**前田丸**  
☎090-5820-0178  
(詳細は巻末の情報欄参照)  
▶料金=アジ乗合一人9200円(コマセ、アカタン付き)、女性と中高生7500円、小学生6000円  
▶備考=予約乗合、7時15分出船。アオソメは300円で販売

前田 悦男船長



▲観音崎沖のアジは良型主体で引き味満点  
▼大型が上がってきたら釣り座に配置されたタモで確実に取り込もう



この日は潮がとにかく速く、投入した仕掛けがミヨシからトモに向かってすごいスピードで流される。当日は大潮後の中潮。潮が速いだろうと予測していたが、それにしても速い。こうなるとアジ釣りには厳しいのだが、案の定なかなか型が出ない。船長は観音崎沖40〜50メー

トルダチのポイントをと2カ所3カ所と探っていく。指示ダナは底から2〜3メートル。そして9時前ごろから良型のアジがポツポツと出始める。釣れてくるアジは35センチ前後と型がよく、画撮りしながらこれでバタバタと続けるのを期待したのだが、群れが固まってくれないのかすぐにアタリが途絶えてしまう。移動してパラパラと大アジが出て、やはり連発とはいかない。大きいものは38センチから

# まめなタナ取りが決め手 観音崎沖の大アジ攻略!!

◎三浦半島浦賀港発↓観音崎沖 本誌ADC(神楽川)平林 潔 Kyoshi Hirabayashi

三浦半島浦賀港の前田丸は、ビシアジ釣り一筋の老舗船宿で、観音崎沖のブランドアジを中心に狙っている。8月に入ってからの釣果は38〜40センチの大アジ交じりでトップ50〜60尾と安定しており、日によっては80尾を超

**知得! Tips and Tricks**  
**オーバーサングラス**  
夏の海ではサングラスが必需品。メガネの上から使用できるサングラスとしてオーバーサングラスがある。サイドからの光もシャットアウトするので目の保護には効果的。もちろん偏光タイプを選ぶべきだが、安価な物では効果はあまり期待できない。  
▲眼鏡の方におすすめ